

「せたがやノーマライゼーションプラン」一部見直し
 「第5期世田谷区障害福祉計画」策定 に向けたシンポジウム

参加と協働から生まれる 「せたがやノーマライゼーション」

世田谷区は、障害者施策の理念や方向性を示す「せたがやノーマライゼーションプラン（世田谷区障害者計画）」について、法改正や社会ニーズを反映し、一部見直しを行います。また、平成30年度からの3年間の障害福祉サービスの確保や主要テーマについて定める「第5期世田谷区障害福祉計画」を策定します。

このたび、計画の素案を取りまとめました。素案をもとに、「障害の有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して継続できる社会」の実現に向け、区民・事業者・区がともに考える場として、シンポジウムを開催いたします。ぜひご参加ください。

【日時】 平成29年9月26日（火）18：30～21：00（開場18：00）

【場所】 成城ホール（世田谷区成城6-2-1）

【プログラム概要】

第1部 基調講演 「障害を持つ息子へ～息子よ。そのまま、いい。～」
 神戸 金史 氏（RKB毎日放送 東京報道部長）

第2部 計画素案の説明

シンポジストによる計画素案についての意見交換
 会場からの質問紹介及び回答



コーディネーター

石渡 和実 氏（東洋英和女学院大学 教授）

シンポジスト（順不同）

荻野 陽一 氏（世田谷区自立支援協議会 副会長）

上原 明子 氏（世田谷区手をつなぐ親の会 会長）

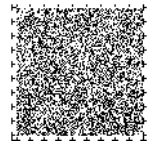
山梨 武夫 氏（地域生活支援センターMOTA ピアサポーター）

朝日 雅也 氏（埼玉県立大学 教授）

神戸 金史 氏



先着 **250** 名
 9月12日（火）より
 9月22日（金）まで
 せたがやコールにて受付
 （電話、ファックス番号
 は裏面に記載）



講演者プロフィール

かんべ かねぶみ し
神戸 金史 氏 (かんべ かねぶみ)

1967年、群馬県下仁田生まれ。早稲田大学第一文学部卒。1991年に毎日新聞社に入社後、1999年から2年間、RKB毎日放送(本社・福岡市)にて勤務。東京社会部で2004年4月、自閉症児の父親の立場からコラム「記者の目」を執筆、7月には『うちの子 自閉症とその家族』を連載した。2005年、RKBに転職。ドキュメンタリー『うちの子 自閉症という障害を持って』で、同年のJNNネットワーク大賞を受賞。報道部長、テレビ制作部長などを経て、現在は東京報道部長。

都内で単身赴任中の2016年7月、相模原での障害者殺傷事件の直後にフェイスブックに投稿した個人的なメッセージが反響を呼ぶ。事件3か月後の10月、自らの家族の歩みと自閉症児の家族への取材を綴った『障害を持つ息子へ ～息子よ。そのまま、いい。～』(ブックマン社)を出版した。

会場案内

会場：成城ホール(世田谷区成城6-2-1)

交通：小田急線「成城学園前駅」下車徒歩4分

バス「成城学園前駅(南口・西口)」下車徒歩5分

バス「砧総合支所」下車0分



有料駐車場は数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

手話通訳・パソコンによる文字通訳がございます。

障害者施設等の自主生産品の販売を行います。



申し込み先

せたがやコール

受付時間 午前8時から午後9時まで(年中無休)

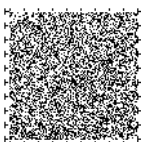
電話 (03)5432-3333

参加にあたって配慮が必要な方は、申し込み時にお伝えください。

ファックス (03)5432-3100

行事名 氏名(ふりがな) 電話またはファックス番号

配慮が必要な場合の内容を記入してください。



【主催】世田谷区 障害福祉担当部 障害施策推進課